



# かぶっとこ通信

令和3年度  
第8号

発行：高知県教育委員会事務局 学校安全対策課

令和3年11月11日（木）に県立室戸高等学校において開催された  
「命を守るヘルメット！」交通安全講演会の内容について紹介します。



## ■ R3.11.11開催「命を守るヘルメット！」交通安全講演会(県立室戸高等学校)

講師の塩見絵里香さんは、自身のお子さんが自転車乗車中に交通事故に遭い、一時意識不明の重体になった経験をされた方で、講演では入院中の映像を使いながら、家族の苦しみや後悔を自身の体験を踏まえて、お話しくださいました。

室戸高等学校では、現在ヘルメットの所有を自転車通学の要件としており、来年度からヘルメット着用を校則化する予定です。講演会を終えて、校則化に賛同する生徒が数多く見られる形となりました。今後の自分自身の行動について前向きな声が多く聞かれ、今回の講演会が学校の良い方向に繋がっています。

講話



## 講演会後の生徒のアンケートから

### 【登下校時のヘルメット着用の校則化について～今後の自分自身の考え方や行動～】

#### 【ヘルメットの重要性を呼びかけ】

塩見さんのお話を聞いて改めてヘルメットの重要性がよく分かったので、自転車で通学する際にはしっかりヘルメットを着用したいと思いました。

講演会では交通事故に遭った時の気持ちや辛さが伝わってきて、交通事故というのはとても悲惨で苦しいものだ改めて感じました。交通事故の重症化を未然に防ぐためにも、ヘルメットの着用を習慣づけていけるように、ヘルメット着用の校則化に賛成します。

そして、塩見さんが「明日の命は、今日自分の命を守ることだ」とおっしゃっていたので、普段から交通ルールを守って自分の命を守っていき、この言葉を忘れないようにしたいと思います。



#### 【見た目を気にしても...】

「周りが着けていないから」とヘルメットを着けることを恥ずかしがったり、ヘルメットがダサい、髪型がくずれる等の理由で、ヘルメットの着用に抵抗がある生徒もいます。

しかし、講演会を聞いて交通事故の怖さとヘルメットの大切さを改めて実感し、着用を心がけたいという生徒もいました。また、ヘルメット着用が校則化することによって、周りの目を気にしなくなり、校則で決めればみんなも守っていくため、自然にみんなの命を守る校則になると思います。

#### 【家族に心配させないように】

ヘルメットは命を守るだけでなく、今後の自分や家族の生活に大きく関わるため、安全性のあるヘルメットを着用することは大切なので校則化に賛同します。

ニュースで交通事故について報道されることはあるけど、事故に遭った方やその家族の事故後の苦しみを考えたことはありませんでした。今回、講演会で身近に感じる事ができ、ヘルメットの大切さを教わりました。一命を取り留めた後、様々な障害が待ち受けていても、家族みんなで協力して乗り越えていくことが大切だと感じました。

もし自分が事故に遭って怪我をしてしまったら、家族や友達など周りの人たちを心配させてしまうため、ヘルメットをしっかり着用して自分の身を守る行動をし、家族との挨拶もしっかり交わしていきたいと強く思いました。

みんなあで  
かぶろうや!

